

第98期部門長挨拶

部門長(第98期)中田 俊彦

『新たな社会実装に向けて』

第98期(2020年度)の技術と社会部門の部門長を務めます中田俊彦(東北大学)です。副部門長の大高敏男先生(国土舘大学)と幹事の田辺基子先生(神奈川工科大学)と共に本部門の運営を進めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



本部門は1991年9月に日本機械学会第20番目の部門として発足し、本年度で29年目を迎えました。

振り返りますと、

- (1) 技術者倫理や知的所有権など技術者が専門職として活躍するための倫理的・法的規制のあり方を研究する分野、
- (2) 技術・工学の歴史を研究する分野、
- (3) 技術者の人材育成や継続教育のあり方やそれらの方法を研究する分野

に重点を置いて活動して参りました。

近年は、持続可能な開発目標(SDGs)(2015)、パリ協定(2015)、サーキュラーエコノミー(2015)など、国際社会における新たな価値観が台頭すると共に、東日本大震災(2011)以降のレジリエンスな社会構築、ポストCOVID-19社会のライフスタイルとデザイン(2020)など、従来の社会構造を根底から見直して変革する動きが矢継ぎ早に始まっています。

伝統ある日本機械学会の中で、本部門の長年の実績と会員の皆様の専門知を生かして、これからの社会実装に貢献する新たな展開を期待しております。引き続き皆様のご発展と共に、本部門の大きなチャレンジを祈願しております。

(東北大学大学院工学研究科教授 中田俊彦)

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

(C)著作権:2020 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門